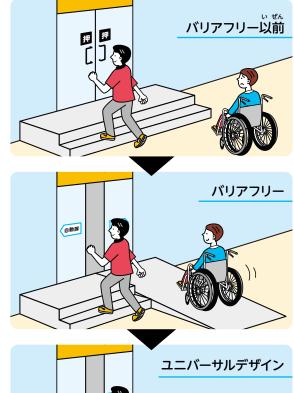
(バリアについて考えてみよう

「ユニバーサルデザイン」って何?

「すべての人」を思い、生まれるもの・こと

「ユニバーサルデザイン」とは、年齢や性別、たいかく しょうがい うまむ のうりょく こくせき 文化、言語などに かかわらず、できるだけ多くの人にわかりやすく、利用できるように製品や建物、空間をデザインする ことです。「すべての人」に合わせることは難しい かもしれません。しかし、それぞれの状況をふまえて代わりの案を考えるなど、より多くの人が参加し、より良いものにしていこうという取組や過程そのものが、ユニバーサルデザインの考え方です。



「バリアフリー」との違いって?

「バリアフリー」とは、障害のある人が生活をしていく上で障壁 (バリア) と感じるものを取り除き、対処するという考えです。「ユニバーサルデザイン」は、初めからさまざまな人が利用しやすいようにデザインするという考え方です。



滋賀県の「福祉のまちづくり」

滋賀県では、ユニバーサルデザインの考え方をもとに、福祉のまちづくりに取り組んでいます。行政、県民、事業者、民間団体が、ともに取り組むという思いをこめて、「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例」が制定されました。関連してユニバーサルデザインの推進に取り組んでいくためのガイドラインとして、「淡海ユニバーサルデザイン行動指針」が、策定されています。ユニバーサルデザインによる建物や製品が完成したあとも、利用者のニーズや多様化など、時間とともに「使いやすさ」は変わっていくものです。滋賀県では、一人でも多くの人の声に応えられるように、改良し続ける姿勢を大切にしています。

ユニバーサルデザインの7原前

ァッカー ひと たまり できない かた がま えき 使う人に合わせて使い方が選べること

3 単純性 でかった。 かんたん 使い方が簡単でわかりやすいこと

ひつよう じょうほう りかい 必要な情報がすぐに理解できること

5 <mark>安全性 ……… 使用時に事故の心配がないこと</mark>

6 体への負担の少なさ …… ずく い力で負担なく利用できること

7 スペースの確保 ……… だれでも使える適当な広さ、大きさがあること

まちの中を見てみよう



っうるはば **通路幅**

っきる はば ひる 通路の幅が広くとってあると、どんな利用者も ^{いとう} 移動がしやすいです。色で通路を示すなどの ^{くふぅ} 工夫もできます。

案内板

^{変しない} 案内は「わかりやすい」が基本。大きくはっきり と表示すること、文字だけでなく絵で伝えること も大切です。





